

ニューロサイエンス学位プログラム(博士後期課程)

基礎科目(ニューロサイエンス学位プログラム:博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTf001	キャリアプラン・研究者倫理・TFトレーニングセミナー	2	1.0	1	通年	随時		綾部 早穂, 山田一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 佐々木 哲也, 阿部 高志, 本城 咲季子, 大石 陽, 國松 淳, 新井 哲明, 山中 克夫, 岡崎 慎治, 秋山 英三, 鶴田 文憲, 根本 清貴, 小金澤 禎史, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, Zhang Qi, 岩田 卓, 仲田 真理子, バスクアロット アキッレ, 山本 慎也, 齊藤 夕貴, 片平 健太郎	学位取得後のキャリア形成を含めて学位取得に向けての計画を明確にすること、研究者として遵守すべき研究倫理について教育すること、前期課程科目(神経科学基礎論、英語ジャーナルクラブ、神経科学先端研究セミナーなど)のTFとして指導にあたる際の準備を進めることを目的とした演習。一部は学位プログラム合宿(1泊2日)として行う。	必修 対面

専門基礎科目(ニューロサイエンス学位プログラム:博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTf251	高度専門科学英語1	2	2.0	1・2	通年	応談		バスクアロット アキッレ, 仲田 真理子	英語を母語とする神経科学学位プログラムの研究指導教員が中心となり、博士論文を英語で執筆するに足る科学英語力、論理的思考力、表現力を養成する。希望者には、NIH Predoctoral Fellowship 相当の研究費や奨学金の申請書作成指導を行う。	必修 対面
OBTf252	高度専門科学英語2	2	2.0	2・3	通年	応談		バスクアロット アキッレ, 仲田 真理子	高度専門科学英語1の単位取得者を対象とした高度英語力養成演習。英語を母語とする神経科学学位プログラムの研究指導教員が中心となり、博士論文や国際誌投稿論文を英語で執筆するに足る科学英語力、論理的思考力、表現力を養成する。希望者には、NIH Predoctoral Fellowship 相当の研究費や奨学金の申請書作成指導を行う。	対面

専門科目(ニューロサイエンス学位プログラム:博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTf601	神経科学専門セミナー1	3	1.0	1・2	通年	随時		山田 一夫, 山中 克夫, 仲田 真理子	つくばブレインサイエンスセミナー、睡眠機構セミナー、人間系コロキウムなどの学内セミナーに加えて、神経科学関係の研究所、学会で開催する学外セミナー学内、学外の組織が主宰するセミナーに参加(参加証とレポート提出で出席を確認)して、分子・細胞、システム、行動・認知、障害・臨床・支援の神経科学の4つの領域の専門的内容についての知識を深める。	必修 対面(オンライン併用型) 参加するセミナーによる
OBTf602	神経科学専門セミナー2	3	1.0	2・3	通年	随時		山田 一夫, 山中 克夫, 仲田 真理子	神経科学専門セミナー1の単位取得者のみ受講可能。つくばブレインサイエンスセミナー、睡眠機構セミナー、人間系コロキウムなどの学内セミナー、に加えて、神経科学関係の研究所、学会で開催する学外セミナー学内、学外の組織が主宰するセミナーに参加(参加証とレポート提出で出席を確認)して、分子・細胞、システム、行動・認知、障害・臨床・支援の神経科学の4つの領域の専門的内容についての知識を深める。	必修 対面(オンライン併用型) 参加するセミナーによる
OBTf603	神経科学専門セミナー3	3	1.0	3	通年	随時		山田 一夫, 山中 克夫, 仲田 真理子	神経科学専門セミナー1,2の単位取得者のみ受講可能。つくばブレインサイエンスセミナー、睡眠機構セミナー、人間系コロキウムなどの学内セミナー、に加えて、神経科学関係の研究所、学会で開催する学外セミナー学内、学外の組織が主宰するセミナーに参加(参加証とレポート提出で出席を確認)して、分子・細胞、システム、行動・認知、障害・臨床・支援の神経科学の4つの領域の専門的内容についての知識を深める。	

OBTF651	神経科学専門研究インターンシップ	3	3.0	1 - 3	通年	応談	山田 一夫, 山中 克夫, 武田 裕司	神経科学基盤的研究に必須となる最先端の技法や知識の習得や、実践的現場の体験を目的としたインターンシップ(2-4週間程度)を通して、後期課程修了後のキャリア形成に役立てる。 1) 理研BSIの各種Program、玉川大脳科学トレーニングコース、生理学研究所のトレーニングコース、日本神経化学会、神経回路学会、行動神経内分必研究会の若手育成セミナーなど。 2) 海外提携校への派遣、CSHプログラム、FENSプログラム、等 3) 産総研の技術研修制度、食品総合研究所インターン制度、NTTコミュニケーション科学研究所インターンシッププログラム、情報通信研究機構研員制度 等 4) 附属特別支援学校、近隣の高齢者施設 等	対面(オンライン併用型) インターンシップ先による
OBTF801	博士論文研究指導1	3	2.0	1	春学期	随時	綾部 早穂, 山田 一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 阿部 高志, 本城 咲季子, 新井 哲明, 山中 克夫, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, 大石 陽, 佐々木 哲也, 小金澤 禎史, 仲田 真理子, パスクア ロット アキッレ, 國松 淳, 山本 慎也, 片平 健太郎	主・副研究指導教員の指導のもと、博士論文研究のテーマ決定、文献研究、予備研究を実施する。各研究指導教員の専門領域、研究テーマは以下の通り。	必修 対面
OBTF802	博士論文研究指導2	3	2.0	1	秋学期	随時	綾部 早穂, 山田 一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 阿部 高志, 本城 咲季子, 新井 哲明, 山中 克夫, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, 大石 陽, 佐々木 哲也, 小金澤 禎史, 仲田 真理子, パスクア ロット アキッレ, 國松 淳, 山本 慎也, 片平 健太郎	主・副研究指導教員の指導のもと、博士論文研究を進める。合わせて、QE1の準備を進める。QE1の合格を単位認定の必須条件とする。各研究指導教員の専門領域、研究テーマは、博士論文研究指導1に同じ。	必修 対面
OBTF803	博士論文研究指導3	3	2.0	2	春学期	随時	綾部 早穂, 山田 一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 阿部 高志, 本城 咲季子, 新井 哲明, 山中 克夫, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, 大石 陽, 佐々木 哲也, 小金澤 禎史, 仲田 真理子, パスクア ロット アキッレ, 國松 淳, 山本 慎也, 片平 健太郎	主・副研究指導教員の指導のもと、博士論文研究を進める。合わせて、QE2の準備を進める。QE2の合格を単位認定の必須条件とする。各研究指導教員の専門領域、研究テーマは、博士論文研究指導1に同じ。	必修 対面

OBTf804	博士論文研究指導4	3	2.0	2	秋学期	随時	綾部 早穂, 山田一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 阿部 高志, 本城 咲季子, 新井 哲明, 山中 克夫, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, 大石 陽, 佐々木 哲也, 小金澤 禎史, 仲田 真理子, バスクアロット アキッレ, 國松 淳, 山本 慎也, 片平 健太郎	主・副研究指導教員の指導のもと、博士論文研究を進める。合わせて、QE3の準備、投稿論文の作成を進める。QE3の合格を単位認定の必須条件とする。各研究指導教員の専門領域、研究テーマは、博士論文研究指導1に同じ。	必修 対面
OBTf805	博士論文研究指導5	3	2.0	3	春学期	随時	綾部 早穂, 山田一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 阿部 高志, 本城 咲季子, 新井 哲明, 山中 克夫, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, 大石 陽, 佐々木 哲也, 小金澤 禎史, 仲田 真理子, バスクアロット アキッレ, 國松 淳, 山本 慎也, 片平 健太郎	主・副研究指導教員の指導のもと、博士論文作成を進める。各研究指導教員の専門領域、研究テーマは、博士論文研究指導1に同じ。	必修 対面
OBTf806	博士論文研究指導6	3	2.0	3	秋学期	随時	綾部 早穂, 山田一夫, 高橋 阿貴, 武井 陽介, 太田 深秀, 阿部 高志, 本城 咲季子, 新井 哲明, 山中 克夫, Lazarus Michael, 坂口 昌徳, 岩木 直, 武田 裕司, 山田 洋, 櫻井 武, 三益 亜美, 平野 有沙, 大石 陽, 佐々木 哲也, 小金澤 禎史, 仲田 真理子, バスクアロット アキッレ, 國松 淳, 山本 慎也, 片平 健太郎	主・副研究指導教員の指導のもと、博士論文を完成する。合わせて、博士論文最終試験、博士論文最終公開発表に向けての準備を行う。各研究指導教員の専門領域、研究テーマは、博士論文研究指導1に同じ。	必修 対面